山の木が混み合う

⇒手入れが必要!

や森についてもっと知ろう!

木を使うことが森を育てる?

人の手で植えられた木は、そのまま放置してしまうと木が混みあい、太陽の光が入らず、元気がなくなっ てしまいます。そのため、手入れの一環として木を間引く(間伐)必要があります。間伐は伐った木を使うこ とでより進むようになります。

木を使うことで、定期的に森の手入れが行われるようになるのです



※森に太陽の光が入り、木々が元気になる。

※洪水や土砂災害を防ぐことができる。

間伐した木の使い道



木を使うことで生活が豊かになり、森の手入れも行われ、森が元気になります。 健全な森は、山地災害を防止し、私たちの生活を守ります。 生活の中に「木」を取り入れてみませんか。

※山形県では「やまがた緑環境税」を活用して、手入れの遅れた森林を整備しています

もりしあく

一森があるしあわせを伝えたい一

遊び場が欲しかったのです。

自然

お子さんと山に

エコロジーガーデン(新庄市)にて

行かれることは?

う、都会のプレー

ークのような

「自分の責任で自由に遊ぶ」

ے 1

仲間と一緒にやっています。

昨年くらい

から企画を立ち上

みんなのあそびば?

で、大人は見守るだけ。薪を割っ自分で危険を学んだりする場所

に行ったりもします。子どもたちに行くので。特にあてもなく散歩

は散歩が大好きなんです。

自由に考えて遊びをつくったり

菜採り、

じいちゃんがきのこ採り

ちゃを用意せず、 の中の広い場所で、

子どもが自分で

山にはよく行きます。

遊具やおも

ぉ じま ゕ な こ **小嶋 可那子** さん

山形市出身。主婦ライター。結婚後新庄市に移り、子育て をしながら畑仕事もこなし地域を盛り上げるための活動も 行っている。10歳、9歳、6歳の女の子と、3歳の双子の 男の子を育てる5児の母。やまがた緑県民会議委員

い土地での生活は発見が多く楽しい土地での生活は発見が多く楽しい土地での生活は発見が多く楽しい土地での生活は発見が多く楽しいです。主人の家は風習をごうした。



10

人の大家族です

生まれで、現在は新庄市にれている小嶋可那子さん。 そして5人のお子さんとお住 「みんなのあそびば」 ご主人のご両親とおばあちゃ 、現在は新庄市に、ご主小嶋可那子さん。山形市なのあそびば」を主催さ

まいです。 新庄市に住んでみて いかがでしたか?

たのです。 然に身につけられる場が欲しかっ 歩いたり足を踏み外したり うですね。デコボコ道をずっと歩 暖炉に火があったり、そういう中 と思います。 を自然に覚えることができたのだ いていた昔の人って、 で危険を学びながら普通に暮ら りますが、昔の していたはず。 人は薪を割ったり

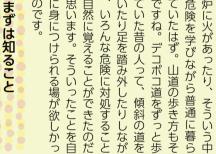
や旬というものを肌で感じるよう

自分の責任で自由に遊ぶ

えてもらって、 する家で、

四季の移り変わり

土地の料理や風習を教





自宅前の杉林でお子さんたちと

らないから気にも留めない。知っか生えてるかもしれないのに、知と思っています。貴重な古い木ととちには山のことを知って欲しい ら渓流釣りもいいですね。 風景が違うんです。大きくなったを歩いていても四季によって毎回 とっかかりだけは作りたいと思っ ているだけでオッと目を留めるこ と子どもは覚えませんから。そても覚えない、楽しいことがな つこともできます。 ともできるし、 そこから興味を持 教えようとし 子ども

つなぐために大事なこと

接点をあまり持っていません。大思います。今の親世代が自然との山や自然のことを知ることだと

ことを、山に興味を持たない人たが入ることで守られているという のが自然」ではなく、 を理解していきます。 然は楽しい、きれいだということ の中に入っていくことで、 を知り、それを守ることの大事さ 自身が知らないから自然の中で 小さいころから山や自然 そういう意味で体験 知ってからだと、 いけないときっ 山は人の手 「何も無 山や自



火をおこして土器で料理

美しい自然を未来に

は大事。小さ 何とかしなくちゃい遊べないのです。知